



羽合小学校 学校通信

平成27年2月9日 NO.93

わかる・できる・使える

先日の全校朝会で「わかる・できる・使える」という話をしました。3学期もあと30日あまり、この1年間の自分の成長を確認してほしいという話です。

成長とは何で計るのでしょうか。かけ算九九が言えるようになった。逆上がりができるようになった。水泳で25Mが泳げるようになった。などできなかったことができるようになるとはっきり成長が分かります。特に低学年のこどもたちはどんどん伸びる時期ですから、生活の中でできるようになったことがいっぱい見つかるはずです。昨日まで、さっきまでできなかったのに、今、出来る！そんな成長の瞬間に出会うこともたくさんあります。とってもうれしい瞬間です。

もう少し上級生になると心の成長も形になって行動に出てきます。たとえば、勉強の中で人を大切にする事に気付くということは、人を大切にしなければならない理由や大切にする仕方、表し方がわかった時です。わかったら今度はやってみる事が大切です。わかったことができるように頑張るとだんだん意識しなくてもできるようになります。

これが**使える**ということです。使えるということは、いつでもどこでも誰にでもできる、つまり身についたということです。こうして、今までの自分とは違う**新しい自分に成長**していくのです。そうすると今までできなかった行動が具体的な動きとなって表れます。

人を大切にする具体的な動きとは、たとえば「ありがとう」が言えるとか、あいさつができるとか、人の話を目で聴くことが出来るとか、適切な言葉や態度をとることができるなどいろいろあります。また、譲り合うとか支え合う、ダメなときにはダメと言えるなどといったことも人を大切にする具体的な動きと言えます。

いっぺんに全部できるようになるとは限りませんが心が変わると行動が変わります。こどもたちの成長が具体的な行動になって表れた時は本当にうれしいものです。1年を振り返って、わかった事、できるようになった事、使えるようになった事を明らかにし、わかったらできるように、できるようになったら使えるように、日々、**新しい自分**に変わっていく**挑戦**を続けてほしいです。私達もその成長をきちんと見極めることのできる大人でありたいものです。

【中部地区 版画コンクール 特選 おめでとう！！】

中部地区版画コンクールの審査結果が発表されました。特選おめでとうございます。

1年：前田利菜、山上純治郎、尾島美郁、谷村侑祐、山脇明奈、青木恵一

2年：生田愛澄 3年：網師本遊羽、若原翔誠、伊吹梓温 4年：伊藤慧哉、宮城歩優

6年：植田朱美、佐々木絵璃

特選作品は2月14日～3月3日まで倉吉博物館に展示されます。ぜひご覧下さい。

羽合小学校 寺谷英則